

愛知教育大学の学生が講師を務める親子電波教室の開催

総務省東海総合通信局（局長 三田 一博）は、愛知教育大学（学長 野田 敦敬）及び愛知県電波適正利用推進員協議会（会長 中山 一郎）との共催により、令和7年6月21日（土）に愛知教育大学において親子電波教室を開催しました。

親子電波教室には、近郊の小学校4年生から中学校2年生までの17名及びその保護者が参加しました。

総務省では、電波の適正な利用に関する周知・啓発活動として、電波の仕組みや身近な電波の利用について興味を持ち、電波の正しいルールについて楽しく学んでもらうことを目的に、親子電波教室を開催しています。

今回は、愛知教育大学の5名の学生に、電波適正利用推進員から事前に電波の仕組み等について説明を受けた上で、講師役を務めていただきました。

参加した小中学生の皆さんは、電波の性質や電波利用システム、電波のルールの必要性等について、三択クイズ形式により楽しく電波に関する知識を深めるとともに、愛知教育大学の学生と愛知県電波適正利用推進員のサポートを受けながら、実際にラジオ製作にチャレンジしました。

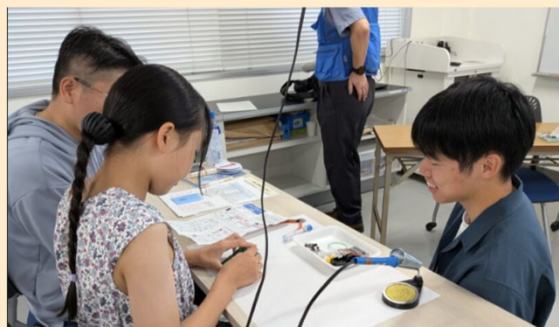
参加した小中学生の皆さんからは「電波のことがよくわかり、楽しかった。ラジオが作れて良かった。」、保護者からは「子供にとって身近なものから電波について考えるきっかけとなり、良かった。学生のトークも上手でおもしろかった。」などの感想をいただきました。

また、講師役の愛知教育大学の学生は、電波に関する三択クイズの進行で会場を盛り上げてくれたほか、ハンダごてを使用する際の注意事項に関してしっかり説明した上で、ラジオ製作の際には、参加した小中学生の皆さんに対して、ハンダ付けの方法を教えたり、質問に答えたりしながらラジオ製作をサポートしました。愛知教育大学の学生からは「科学の面白さや楽しさを多くの人に伝えていくという自分の夢に今回の経験を生かしていきたい」との感想をいただきました。

東海総合通信局は、電波の仕組みや電波利用システムに興味を持ち、電波のルールを守ることや、電波の適正な利用の大切さを知っていただく機会になることを期待し、引き続きこのような取組を推進していきます。



三択クイズ



ラジオ製作



完成したラジオを持って記念撮影



6/4(水)に、愛知教育大学の学生が、電波適正利用推進員の方から事前に説明を受けている様子

6/21(土)親子電波教室の様子

お問い合わせ先：電波利用環境課 052-971-9196